

# 県政だより

みんなの思いを  
つなぐ



第003号  
平成24年  
4月29日発行

議員活動報告  
新潟県議会議員 **小島義徳**

## もくじ

- (1) 再生可能エネルギー
- (2) 新潟県地域防災計画・暴風被害・TPP
- (3) 平成24年度の主な施策
- (4) 北陸新幹線問題・土木工事・その他

### 再生可能エネルギー

東京電力福島第二原発事故以来、全

国の原発の再稼働が不透明な中、再生可能

エネルギーが注目され新潟県も太陽光

発電所を稼働し、現在二基目の設備を

建設中です。一メガワット出力の発電所で

一般家庭約三百世帯分の電力を発電します。

七月一日より産業用再生可能エネルギー

電気の固定価格買取制度が施行される予

定です。買取価格と買取期間によつて採

算性がかなり期待出来そうです。一定規模の

未利用地が有効に活用され、負担となつてい

た資産が利益を生む資産に変わります。

この事業を地場で取組めば、発電電力は地産

地消が可能で、電力の生産が地域の利益となります。

### 北朝鮮ミサイル

#### 問題・拉致問題

北朝鮮の新指導者の金正恩（キム・ジョンウン）は、長距離ミサイル問題や核開発問題でまたもやアジアや世界を騒がせている。

依然進展しない拉致問題。この六月末に五泉市内で横田さんを招き拉致問題解決に向けた集会を開催する予定。現在実行委員会を準備中とのこと。多くの皆様のご参加をお願い致します。

### 平成二四年二月 定例県議会議案

#### 第一号議案

平成二四年度新潟県一般会計予算

一兆三、四二五億一千万円

#### 第二号議案、第九五号議案ま

で  
全九五議案

### 土木工事

今泉ウオロク前交差点改良



右折車線で渋滞緩和 今夏に完成の予定

荻曾根川改修工事



迂回仮設道路設置後つきみ橋の建設始まる

牧川河川改修



用地買収後建設工事始まる

阿賀野川河川改修



咲花地内の護岸改良 今年から始まる

小島義徳事務所

〒959-1803 五泉市下条 84-1 ホームページ : <http://kojima-yoshinori.jp>  
TEL 0250-47-4875 FAX 0250-47-4876 E-mail: [kojima@prcoc.co.jp](mailto:kojima@prcoc.co.jp)



## 平成24年度主な新規施策の概要

### ▼新潟県地域防災計画の見直し

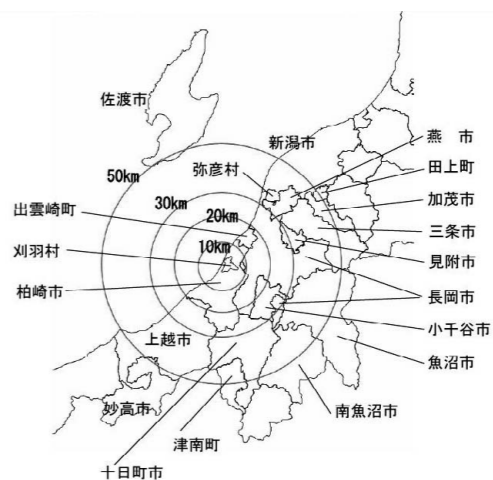
現行の防災計画と東京電力福島第一原発事故の実態との乖離が問題となった。

第一に事態が想定よりも早く悪化する。第二に避難が長期化している。長期的な対応（生業、教育の問題）は想定していない。第三に半径一〇キロの避難対象が半径三〇キロに拡大。第四に食物や土壌の広範囲な汚染問題。第五に避難先の他、事業活動や医療体制等全県的に影響。第六に複数基からの放射能放出事故。

原災法の防災対策の仕組みが機能したのか、オフサイトセンターが機能しなかった等、まずは今回の原子力災害の検証の上で、県で出来ることから現行の防災計画の見直し作業を行っていく。



【参考】柏崎刈羽原子力発電所周辺の市町村



被害を受けた農業用ハウス

### ▼暴風被害者の緊急支援策

平成二四年四月三日～五日の台風を上まわる暴風によりハウス等の農業施設が被災した事業者に対する緊急的な支援を実施することになった。

緊急技術対策、農林水産業関連施設等復旧対策、共同利用施設緊急復旧支援、農林水産業振興低利資金の設定、中小企業災害相談窓口の設置、中小企業金融相談窓口の設置、セーフティネット資金（経営支援枠・自然災害要件）貸付金、観光基盤整備事業補助金、税の特例措置等の緊急支援策を用意した。

### ▼不透明なTPP事前協議

野田首相のTPP発言に関する内閣の解釈は不一致。一部の関係閣僚が交渉参加の判断を既成事実化するような発言を繰り返しており、政府の事前協議内容の情報開示がなく不透明。中央会萬歳会長は、なし崩しの参加交渉は問題だ。十分な情報開示と政府の統一方針が確立するまでは、関係国との事前協議は中断すべきと主張している。

一方、泉田知事は、我が国は、世界で最も自由貿易によって恩恵を受けている国の一つであり、基本的には経済連携に取り組むことが必要と考えている。しかし、その前提として各国固有の権利である食料安全保障が不可欠であり、特に主食である米については関税撤廃の対象から除外を求め、これが認められない場合は交渉から撤退する等の強い姿勢で臨むべきと主張している。

### 生可能エネルギー

#### 設備投資促進制度の創設

マイナス金利を活用して再生可能エネルギーを活用した発電施設の設備投資を促進します。県内企業及び県内企業を含む共同体による発電施設等の設備投資を支援します。

### 電気自動車

#### 関連産業の育成

電気自動車の中でもガソリン車等を電気自動車に改造するコンバートEV（改造電気自動車）の需要を喚起して県内の事業者がEV技術を蓄積し関連産業を育成し広げます。自動車改造を得意とする技術者に朗報です。

### フロンティア企業支援資金

#### グリーンニューディール枠

地球温暖化対策として太陽光発電や地熱発電などの新エネルギーや省エネルギー設備を導入する企業に対して資金を融資します。

### 未利用エネルギー

#### 活用植物工場実証事業

県内企業が持っている要素技術を結集した省エネルギー植物工場を開発・実証することにより、市場の拡大が見込まれる植物工場関連産業への県内企業の参入を促進していく予定です。

「植物工場」とは、施設内で植物の生育に必要な環境をLED照明や空調・養液供給等により人工的に制御し、季節を問わず連続的に生産できるシステムのことをいう。

### 新規就農者確保

#### 定着対策事業

UIJターン就農者対策や就農相談窓口の設置等とあわせ、法人等に就業した新規就農者に対し研修等の支援を通じ就農・定着を推進します。

就農相談窓口の設置や就農情報の発信をすすめ、新規就農者への企画能力向上等の研修を実施します。

### 地域中核企業

#### 成長促進事業

地域の中小企業の受注拡大を図るため、地域内に協力企業を多数抱える企業に対し国内・海外への見本市等の出展経費を支援します。

### 青年就農支援事業

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前後の研修期間の所得を確保する給付金を交付するとともに、経営が不安定な就農直後の所得を確保する給付金を交付します。



東部工業団地 太陽光発電設備